

教育委員会事務局学校教育課

1 学校教育関係

(1) 学校別就学児童生徒数

ア 小学校

令和7年5月1日現在

学校名	前年度		本年度		増 減		校長名
	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	
明道小学校	14	318	14	310		△8	岡崎 尚二
義方小学校	20	402	20	414		12	三木 徹
啓成小学校	17	321	17	330		9	安部 悟
就将小学校	17	315	17	304		△11	井田 剛
車尾小学校	21	484	21	461		△23	坂本 貴俊
福生東小学校	24	498	23	495	△1	△3	西村 健吾
福生西小学校	14	274	14	258		△16	玉木 敦子
福米東小学校	26	541	25	524	△1	△17	藤谷 雄一
福米西小学校	25	590	26	573	1	△17	船田 めぐみ
加茂小学校	27	594	28	615	1	21	山浦 俊也
河崎小学校	13	227	13	236		9	石倉 和幸
住吉小学校	30	579	28	571	△2	△8	村中 祥宏
尚徳小学校	8	147	8	149		2	足立 彰子
五千石小学校	7	133	8	125	1	△8	山本 晶子
彦名小学校	11	197	10	187	△1	△10	山根 真奈美
崎津小学校	8	140	8	131		△9	清水 裕子
大篠津小学校	9	95	8	98	△1	3	遠藤 東代子
和田小学校	8	86	8	85		△1	太田 敦弘
弓ヶ浜小学校	23	523	24	539	1	16	笠井 和観
成実小学校	9	149	9	149			青山 武司
箕蚊屋小学校	17	288	17	286		△2	灘脇 俊彦
伯仙小学校	16	346	16	334		△12	吉田 誠克
淀江小学校	22	506	24	495	2	△11	濱田 丈司
合 計	386	7,753	386	7,669		△84	

イ 中学校

令和7年5月1日現在

学校名	前年度		本年度		増 減		校長名
	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	
東山中学校	15	365	14	367	△1	2	船田 次郎
福生中学校	16	398	15	407	△1	9	森脇 宏
福生中学校いずみ分校	2	8	3	7	1	△1	森脇 宏
福米中学校	22	568	23	567	1	△1	玉野 伸也
湊山中学校	13	323	14	331	1	8	竹本 周平
後藤ヶ丘中学校	22	542	22	500		△42	金川 朋史
美保中学校	9	159	9	157		△2	堀場 善智
弓ヶ浜中学校	13	336	14	321	1	△15	吉田 豊
尚徳中学校	11	228	10	216	△1	△12	安田 順一
加茂中学校	15	338	14	337	△1	△1	田貝 太樹也
淀江中学校	11	256	12	252	1	△4	八幡 晋史
合 計	149	3,521	150	3,462	1	△59	

学校名	前年度		本年度		増 減		校長名
	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	
箕蚊屋中学校	17	435	17	429		△6	赤路 卓也

(2) 指導関係

ア 学校計画訪問

学校の管理・運営の実態及び教育実践の状態を把握するとともに、当面する問題点や現場の意見を聴取した。

訪問校 17校

臨時訪問校 34校

イ 知能検査、心理検査の実施

(ア) 小学校2年・4年、中学校1年に知能検査実施

(イ) 小・中学校全学年に心理検査実施

(3) 研修関係

教員の派遣研修

ア 小・中学校管理職研修会（8月）

イ 小・中学校教頭研修（4、6、8、10、12月）

ウ 小・中教務主任研修会（小：6月、11月 中：7月、12月）

エ 特別支援教育研修会（4月、5月、2月）

オ 小・中学校人権教育研修講座（6月、7月）

(4) 障がいのある児童生徒の就学指導

米子市教育支援委員会を8月、9月、11月、1月に開催し、個々の障がいに応じた適正な判定と就学指導について審議した。

(5) 不登校児童生徒対策事業

教育支援センターぷらっとホームにおいて、市内小・中学校の不登校および不登校傾向児童生徒を対象に学習支援、自立支援を実施した。校内サポート教室を市内3小学校（市2、県1）11中学校（市6、組合1、県4）に設置し校内での多様な学びの場を設置した。

(6) コミュニティ・スクール推進事業

令和6年度より、市内全ての学校に、学校運営協議会が設置された。めざす子ども像に向けて、地域と連携、協働する学校づくりを生涯学習課とともに推進した。

(7) スクールソーシャルワーカー活用事業

教育委員会に専門的知識や技能を有するスクールソーシャルワーカー12名の配置、及び、専門的知見を有するスーパーバイザーを外部委託し、問題を抱えた児童生徒に対し当該児童生徒が置かれた環境への働きかけや、関係機関とのネットワーク活用などの支援活動を行った。

(8) 通級指導教室整備事業

市内小中学校に通級指導教室を設置し、支援の必要な子どもたちのニーズに応じた指導や支援を行った。

(9) 小学校少人数学級の実施

少人数学級（全学年1学級30人）の実施に伴い、3年生から6年生について、加配教員（12校18人）に要する人件費の一部として3,600万円の協力金を鳥取県に提供した。（1学級当たり200万円）

(10) 中学校少人数学級の実施

少人数学級（1年生は1学級33人、2・3年生は1学級35人）の実施に伴い、2・3年生の加配教員（8校13人）に要する人件費の一部として2,600万円の協力金を鳥取県に提供した。（加配教員1人当たり200万円）

(11) 英語指導助手配置事業(民間委託事業)

7名の英語指導助手が市内小学校・中学校の巡回英語指導を実施した。

(12) 児童生徒定期健康診断

ア 結核健康診断

結核健康診断問診票により、要精密検査となった者又は学校医その他の担当の医師において必要と認める者に対して、胸部エックス線直接撮影等の精密検査を実施している。

区 分	精密検査		有所見者	異常なし
	対象者数	受検者数		
小学校	2	0	0	0
中学校	0	0	0	0
合 計	2	0	0	0

イ 心電図検査

小学校第1・4学年および中学校第1学年全員を対象に実施した。

区 分		対象者数	受検者数	要精検者数
小学校	第1学年	1,202	1,200	33
	第4学年	1,299	1,293	47
中学校		1,289	1,280	33
合 計		3,790	3,773	113

ウ 尿検査

全児童、生徒を対象とし、試験紙法によって蛋白・糖・潜血の三法で実施した。

区 分	対象者数	受検者数	陽性者数		
			蛋白	糖	潜血
小学校	7,669	7,650	47	5	41
中学校	3,891	3,843	65	4	49
合 計	11,560	11,493	112	9	90

(13) 教職員定期健康診断

ア 定期健康診断

教職員を対象に定期健康診断を実施した。

区 分	受検者数
小学校	444
中学校	220
合 計	664

イ 結核健康診断

教職員を対象に胸部エックス線検査を実施した。

区 分	受検者数	被発見者数
小学校	434	0
中学校	216	0
合 計	650	0

ウ 胃の検査

40歳以上の教職員を対象に胃部エックス線透視撮影を実施した。

区 分	受検者数
小学校	121
中学校	79
合 計	200